

中前総領事離任挨拶

着任した2015年は日伯外交樹立120周年と在サンパウロ日本国総領事館開設100周年という節目からのスタートでした。特に、秋篠宮同妃両殿下がブラジル6州9都市を訪問され、皆様と心温まる交流をされたことは、素晴らしい出来事として記憶に残るものでした。

2016年はリオ・デ・ジャネイロ オリンピック、パラリンピックの年でした。安倍総理も出席した閉会式では、五輪旗がリオから東京へしっかりと受け継がれました。

本年4月にはジャパン・ハウス サンパウロが開館しました。ルーベンス・リクペロ名誉館長、運営委員の方々、アンジェラ・平田館長他関係者の大変なご尽力もあり、麻生副総理及びテメル大統領、アルキミン州知事、ドリア市長が御出席の下、大変盛況なスタートを切りました。一般公開後1ヶ月と3日で入館者が10万人を突破しました。ブラジルの方々に広く今の日本の魅力、「世界を豊かにする日本」を伝えたいと思います。引き続きの支援を関係者の皆様をお願いします。

二国間関係では、昨年10月には現職大統領として11年ぶりにテメル大統領が日本を訪問し、安倍総理との間で首脳会談が行われました。また、日本からもブラジル、サンパウロに多くの要人の訪問がありました。

ブラジル経済が困難な時期にある中、ブラジル日本商工会議所および日本企業の皆様は常にオプチミズムをもって乗り切っておられます。ブラジルのポテンシャルを最大限に引き出すため伯政府との政策対話（AGIR）を進める等、日伯経済関係の進展を目指し建設的なアプローチをもってご努力を頂いていることに敬意を表します。

サンパウロには47都道府県全ての県人会があり、地方の魅力を発信しています。それを集約しているのが来場者17万人を誇るフェスティバル・ド・ジャポンです。来週末には第20回のフェスティバル・ド・ジャポンが開催されます。多くの方々のご来訪をお願いいたします。

また、在任中、サンパウロ州、マトグロッソ州、南マトグロッソ州で107カ所の日本人移住地を訪問し、移住者の方、その子孫の方々と交流することができました。各々の地で苦労を重ねながら生活を切り開いてこられた方々のお話を伺い、畏敬の念を新たにしました。どこでも温かく迎えて頂き、各地で日系社会の真心に深く感動しました。

若い日系人との交流ができたことは何よりの喜びでした。多くの若い人々が、その祖先の誇りを胸に、この国の発展と社会福祉の向上に努めておられるのを知りました。これら若い世代の皆さんの益々のご活躍を願ってやみません。

最後に、日伯の友情が更に大きく広がっていくことを強く願いつつ、深い感謝の念とともに、皆様方お一人お一人の益々のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、また近い将来に再会できるよう願いを込めて私の離任の挨拶とさせていただきます。